



# Intercultural experience



ファミリーとパーティでゲーム



牧場見学で子羊にミルクをあげさせてもらいました



水族館見学はサメバスに乗って



中心部のビル街にて



やっぱり子羊ってカワイイ!



授業で店員さんにインタビュー



マオリ族の集会所で風に吹かれて



大学のカフェテリア



キャンパスの朝もや



牧場にも大木があった



デニバ博物館にてマオリ文化に触れる



時刻表は電光掲示板: バスの乗り換え駅にて



南半球一のスカイタワーも坂の上からだと小さく見えます



休日、ホストファミリーと植物園へ



先住民族マオリ族のスティック・ゲームを習う

ホームステイ家族全体でボトック(持ち寄り)パーティー



乗馬どんなもんだい

## 異文化を体験する。

日本企業の「グローバル化」は、近年、急に始まった話ではありません。以前から大手メーカーや商社は世界各国に拠点を構え海外活動を行ってきました。一方インターネットの発達により企業活動が国境を越えるようになり、従来グローバル化が手つかずにいた内需型企業が日本国内の景気低迷、少子化による国内需要減に対する方策として、新規に海外へ進出するようになりました。それに伴って多くの企業が新規採用する人材に「グローバル人材」を求めています。一口に「グローバル人材」と言っても、語学力を有する人材、異文化を知る人材、海外留学経験者など、企業の風土、成功体験、価値観などに基き様々な形で定義されますが、英語力や海外での経験はもちろんのこと、コミュニケーション力、主体性・積極性、チャレンジ精神、判断力、適応力、思考力など、数多くの資質が求められます。しかしながら、現在大学に入学する若者の多くは、周囲の反応を見て自分の立ち位置を決め応じた役割を演じようと友人関係に異様に気を遣うため、狭い世間に気を遣い過ぎ外の世界に目が届きません。このように狭い人間関係に閉じこもっているのは、企業が求める人材になれるはずもないのです。江戸川大学には、言語の壁だけでなく、コミュニケーションの違和感を取り払う経験をして、異文化を理解する能力を培う「海外研修・短期留学」プログラムが用意されています。



キャンパスでは牛や羊が待っていた



トラムの通る市街地



ファミリーとパーティでゲーム



休日、ホストファミリーと森林浴へ



これがスーパーだ!



鼻の頭を合わせるマオリ族のあいさつにちょっとドキドキ

## Overseas Trainings